

大学におけるこれからの特許戦略

—ハイテク分野およびベンチャー創出と産学連携での役割—

京 都 大 学

国際融合創造センター (IIC)長

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー (VBL)施設長

松 重 和 美

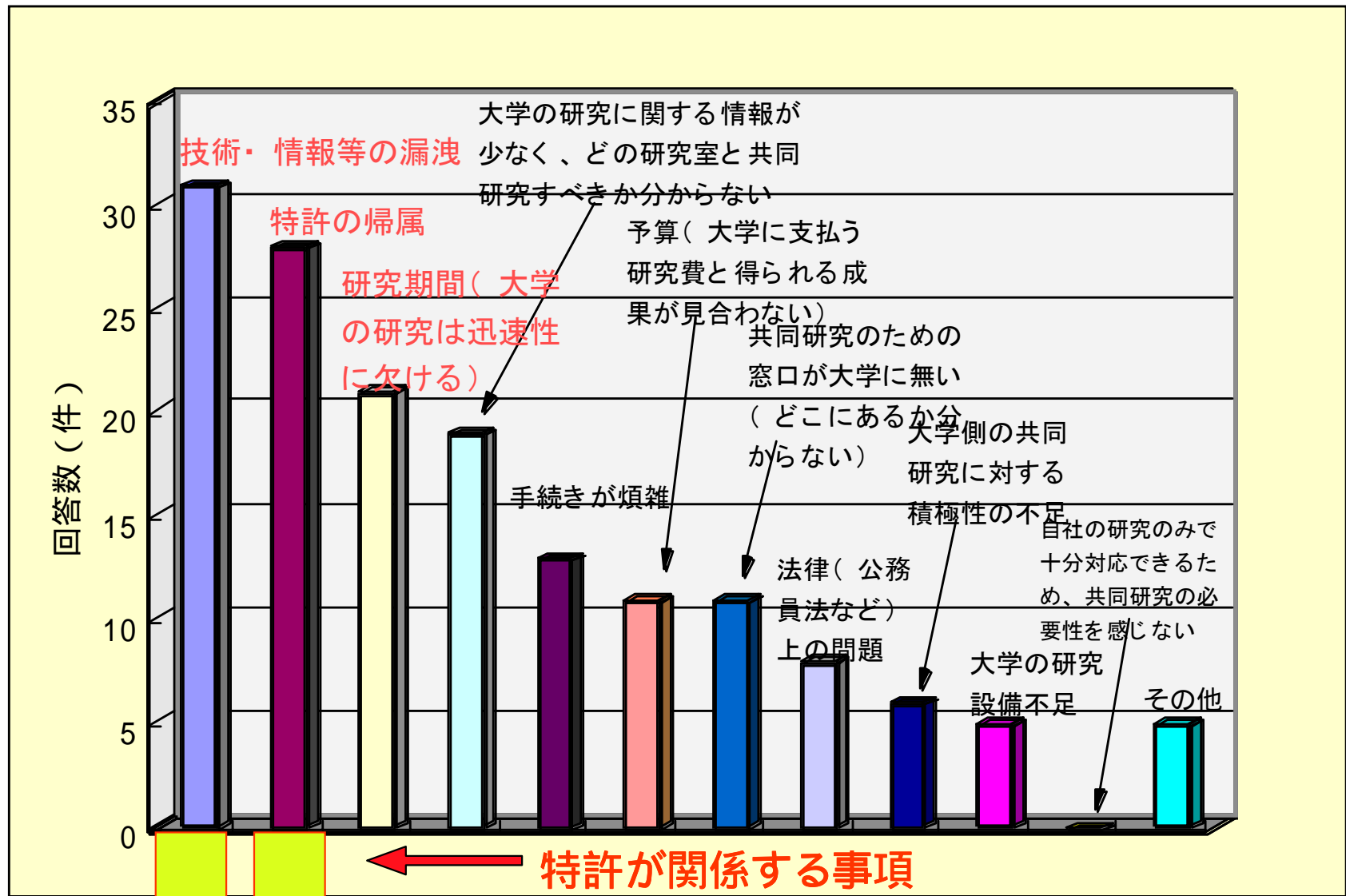
大学におけるIPに関する課題

1. 発明委員会の非力
2. 非職務発明的取り扱い
3. 組織的対応・機能性の欠如
4. 大学人・企業の低い意識
5. 産業構造変革への対応の遅さ

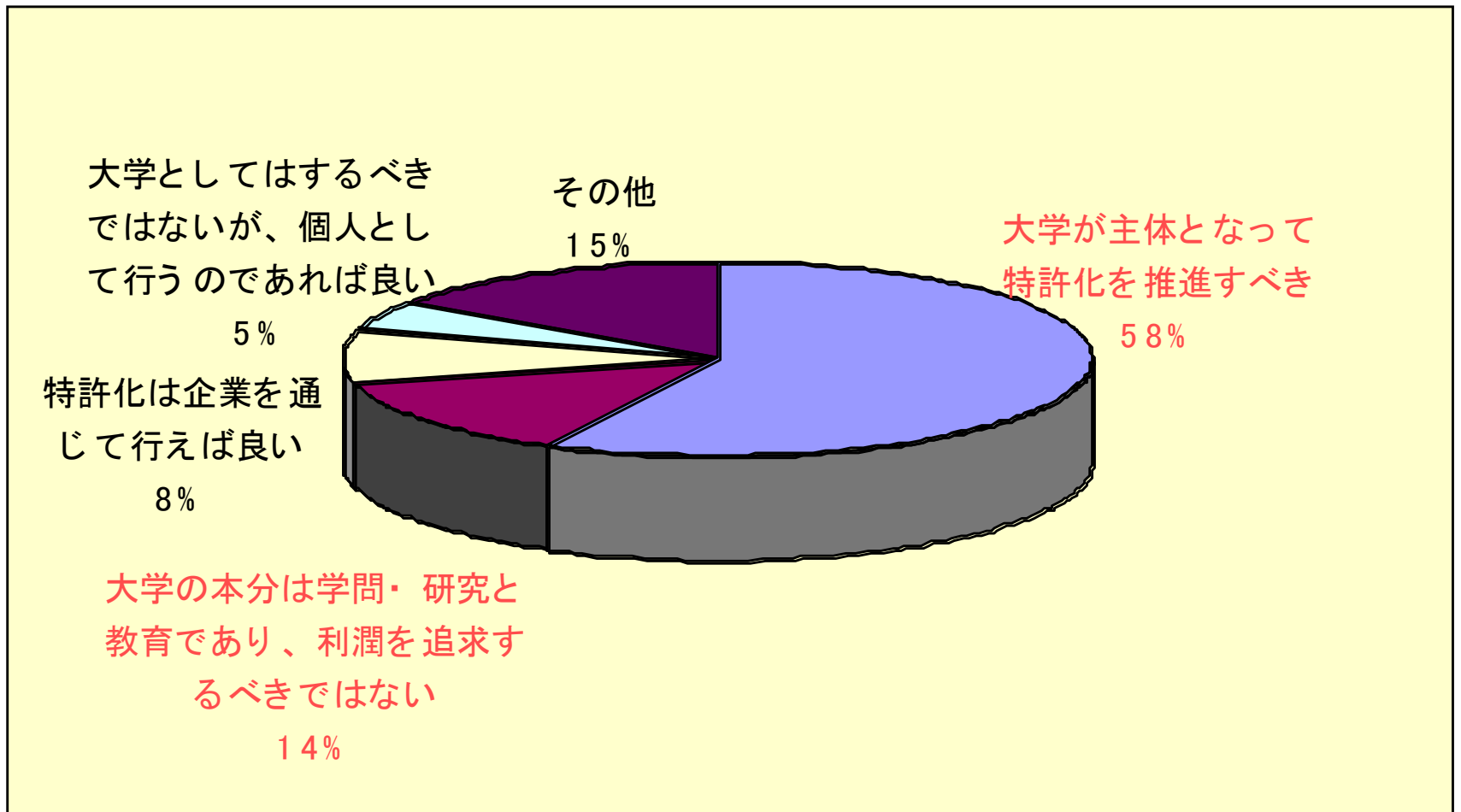


知的財産に対する戦略的取り扱い、
有機的システムの構築が不可欠

大学と共同研究を行う上での問題点



大学研究成果の特許化について



京大VBLでの特許取得、支援事業

京大VBL

マーケット

技術ニーズ

起業相談室

毎週水曜日
14-16時
VBL 2F BS室

- ◆ 事業計画、法人設立相談
- ◆ 資本調達、経理ノウハウ

特許相談室

毎週火/金曜日
14-16時
VBL 2F BS室

- ◆ 技術特許、ビジネス特許化相談
- ◆ 先行技術調査依頼など

連携

派遣元：京都リサーチパーク

派遣元：関西TLO

専門アドバイザーが来館し、
各種相談を無料でお受けします。



キャピタルニーズ

ベンチャー起業

ライセンスング

京大VBLからの学生ハイテクベンチャー創出(TLOが支援)

京都インスツルメンツ概要

先進のナノプローブ技術により国内外のナノテクノロジー研究をサポートします。



- ・高分解能での原子/分子観察および静電気力評価技術
- ・国内有名プローブ顕微鏡製造メーカーと技術協力
- ・世界で初めて共振追尾型超音波原子間力顕微鏡の開発

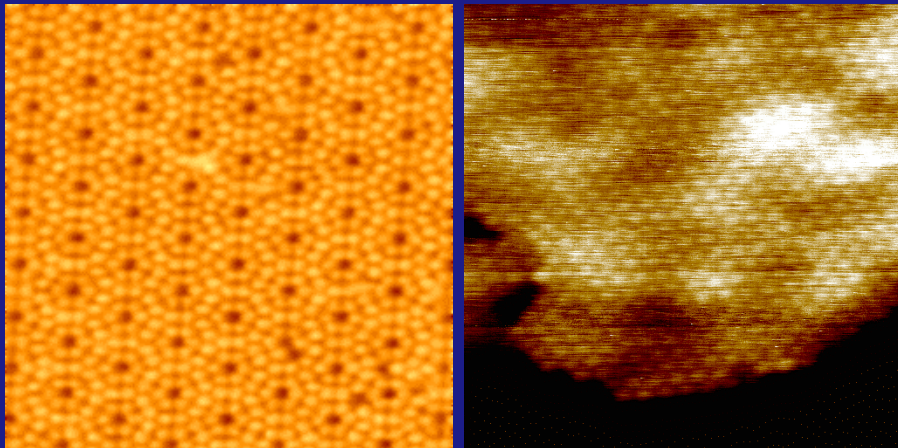
超高真空中から液体中まで、あらゆる環境下で高感度共振周波数検出技術により原子間力顕微鏡の力検出感度を向上する京都インスツルメンツの原子間力顕微鏡拡張装置

事業内容

ナノプローブ技術開発・装置製造販売
ナノプローブ技術に関するコンサルティング
プローブ顕微鏡による試料観察分析



原子間力顕微鏡拡張装置 KI-2001X



シリコン原子像

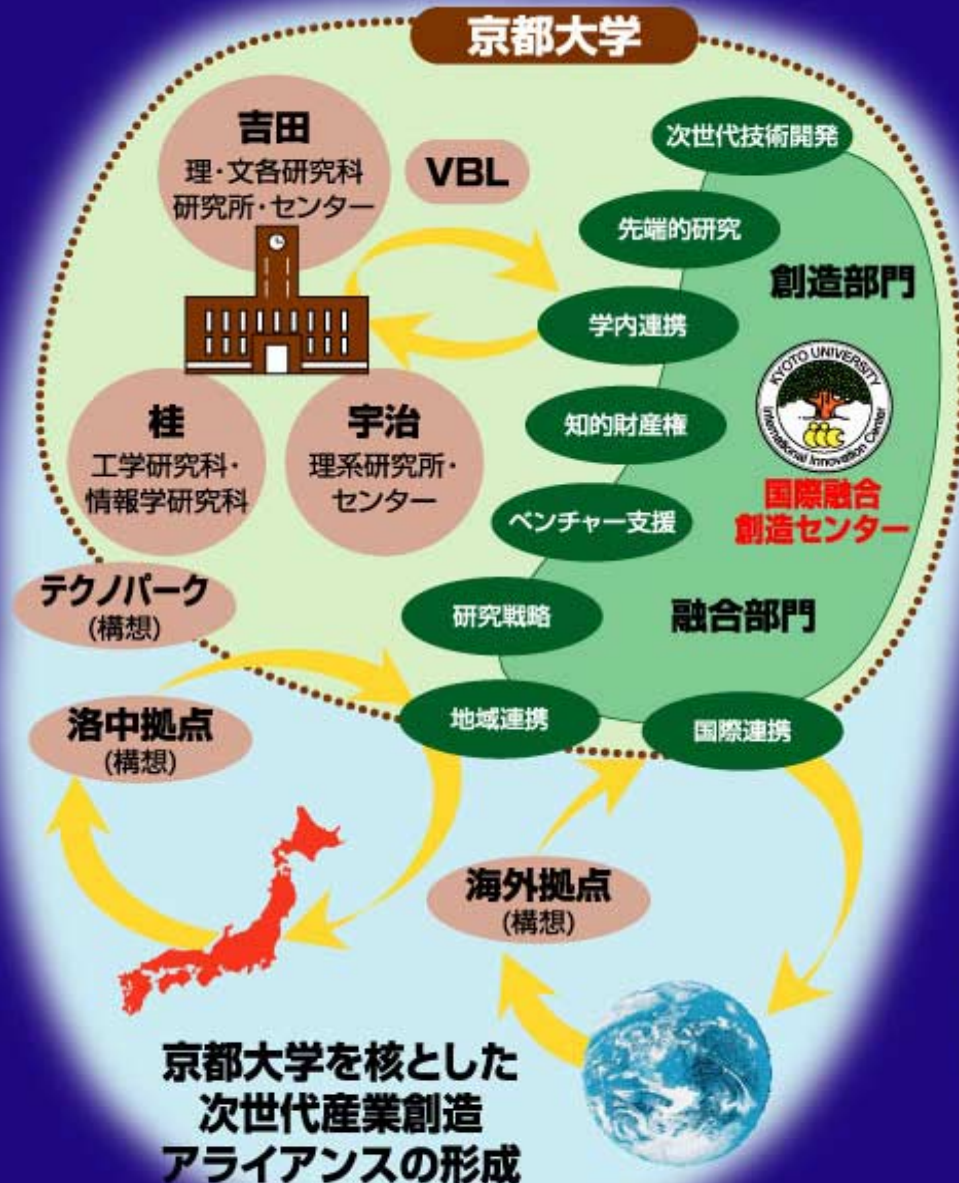
フラレン分子像



京都大学国際融合創造センター

Kyoto University International Innovation Center

KU-IIC



知的財産権、リエゾン等
の融合部門を有する国内
最大の産学共同センター
(H13設置、H14拡充)



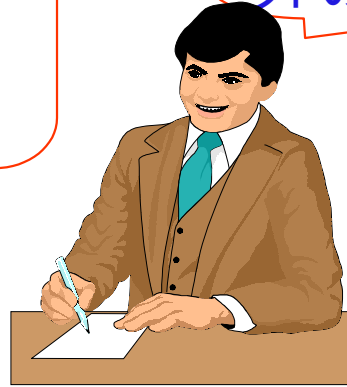
融合部門

知的財産権・研究戦略・国際連携・リエゾンの連携によりVB起業へ

京大の教官が
出願した特許
の実用化に
興味がある
のですが...



それでは当該教官とコン
タクトを取りましょう。
実用化に向けたコントラ
クトのお手伝いをします。



知的財産権

産学連携相談者(学外)



国際連携

この案件解決のためには
国際的権威のエジソン
博士に指示を仰ごう。
アンダーソン教授コン
タクトを取って下さい。

実用化研究とVB経営家との
出会いで会社を設立したぞ!!
収益の一部は基礎研究や
教育に役立てよう。

この特許を実用化するには
プロセス技術の開発が必要
なので企業の経験者を派遣
して欲しい。



研究戦略

VB起業には経営
戦略も必要です。
出資金, ビジネ
スプラン, 企業
との交渉等をお
手伝いします。



リエゾン



ベンチャー

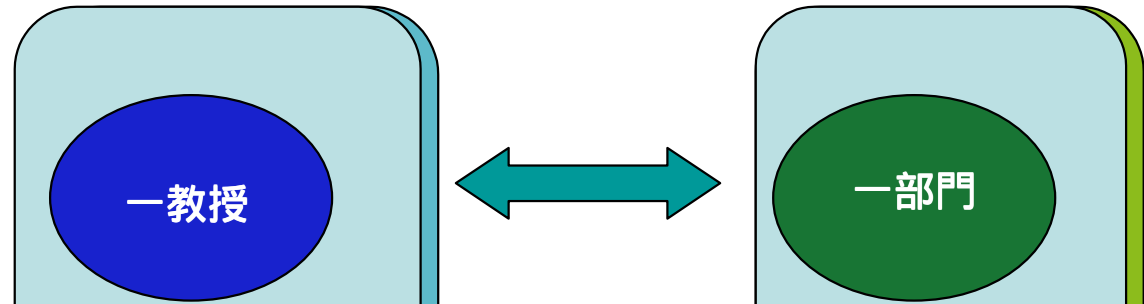
産学連携の種々のスタイル

大学側

企業側

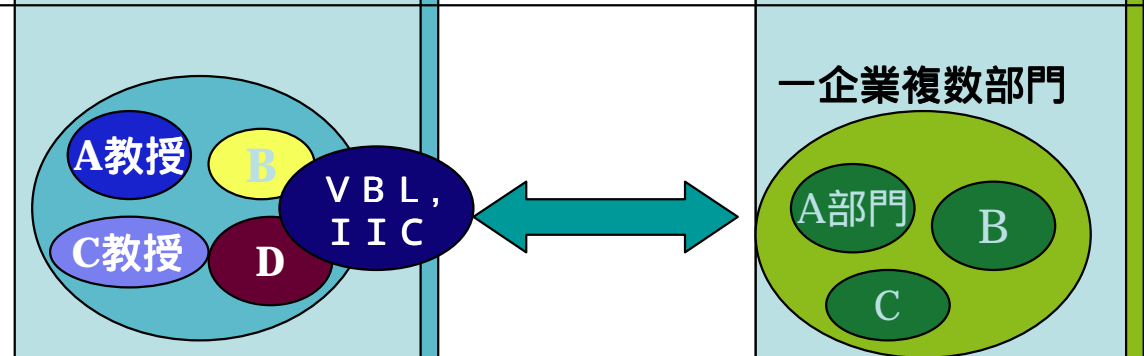
1. 個別型

奨学寄附金（おつきあい型）
共同研究、受託研究
技術解決、相談型
数十万から数百万



2. グループ型

共同研究、受託研究
短中期的プロジェクト
数千万
(例；ローム(株)、シャープ(株))



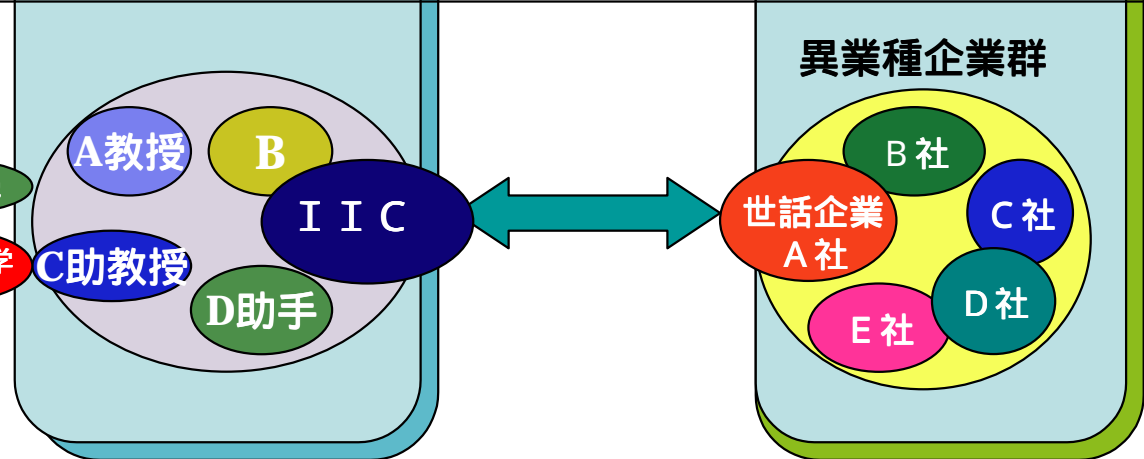
3. 融合アライアンス型

大規模共同研究
中長期的プロジェクト
数億円規模
公募・組織型
国からのマッチングファンド(検討中)
寄附研究部門の設置(予定)

検討中

他大学

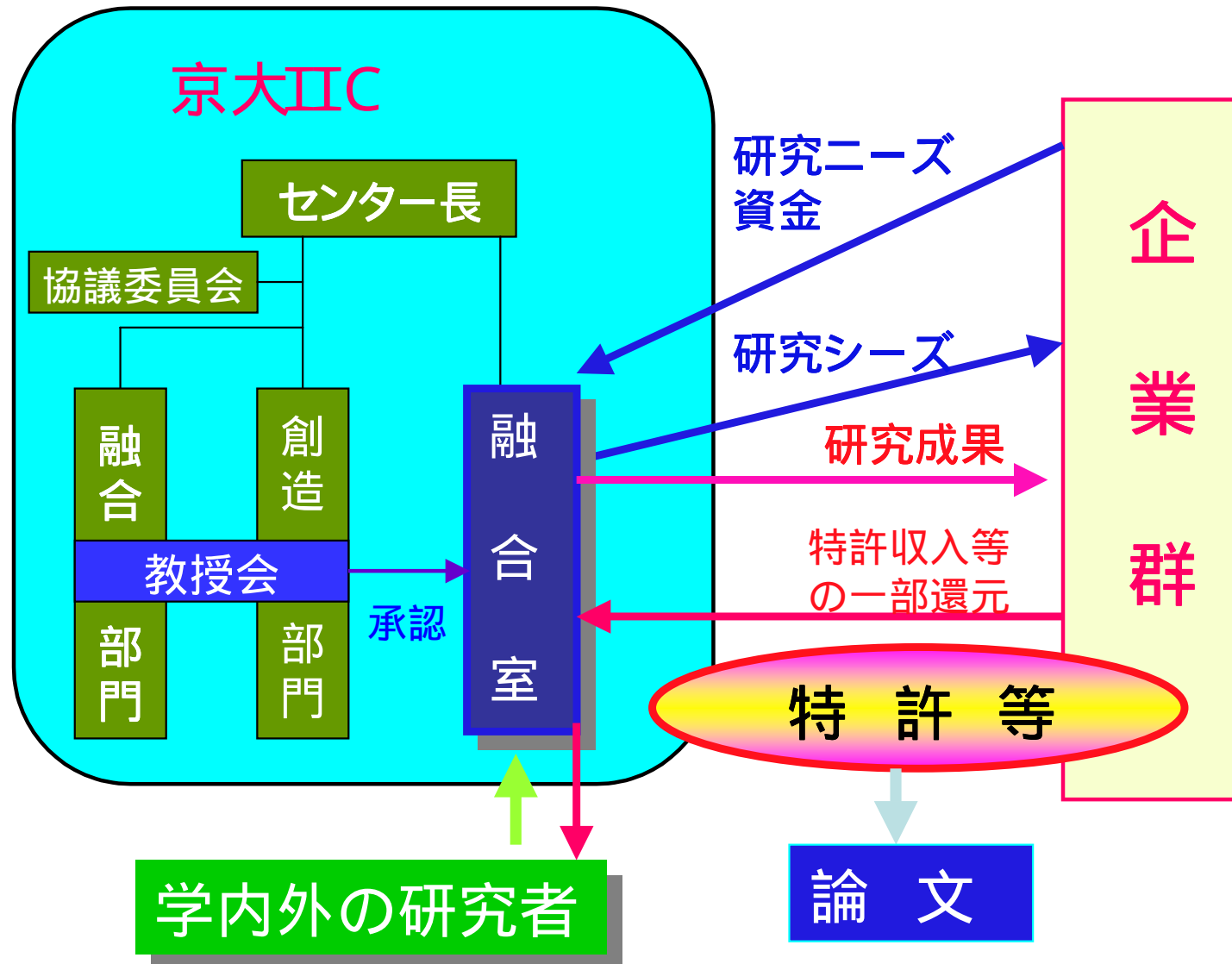
海外大学



京大IICを核とする 戦略的産学融合アライアンスの特徴

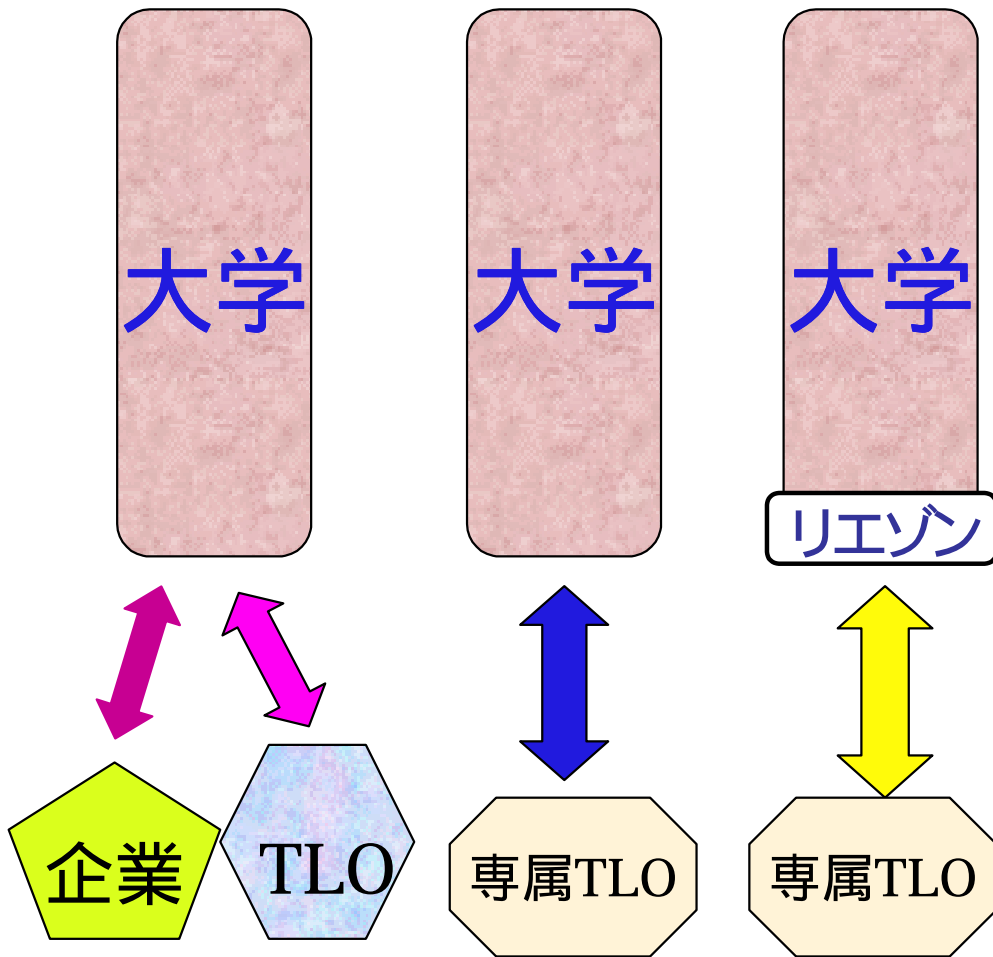
1. 異業種企業群と大学とのアライアンス
2. 対等の立場 オープン性 組織的対応(融合室の設置)
3. 明確なIP戦略、契約・特許WG
4. 先進的・迅速な技術開発を可能とする研究推進体制
5. 大型・長期的契約(毎年数億 5年間)
6. 若手研究者(PD、院生)への経費配分

京大IIC 戦略的産学融合アライアンスシステム



大学とTLOとの関わり方

Type 1 Type 2 Type 3



Innovation Center構想



要点

国の初期投資、大学との連携
数十億円規模、要経営感覚
NPO or Ltd.? 外部経営?

変貌する大学の研究と特許の環境

1) 新たな研究分野でのIPの取り扱い

バイオ・医療 IT、ナノテク等新分野

2) 産学官・地域・国際連携でのIPの重要性

融合アライアンス、桂イノベーション、

知的クラスター 等大学を核とする多彩な事業

3) 迅速な出願・権利取得

論文を先取りした特許



組織的対応 IP戦略 財政的基盤の必要性

法人化を先取りする独自システム・機構の構築